MINDAN
民団新聞

在日本大韓民国民団 機関紙
民団新聞社　発行人　金利中
発行所：〒106-8585東京都港区南麻布1-7-32
TEL 03(3454)6375 FAX 03(5419)7555
郵便振替口座 00160-6-52652
ソウル事務所：〒04538 ソウル特別市中区明洞3ギル6
開洋ビル16階1603号
TEL 02(734)1164 FAX 02(734)1185

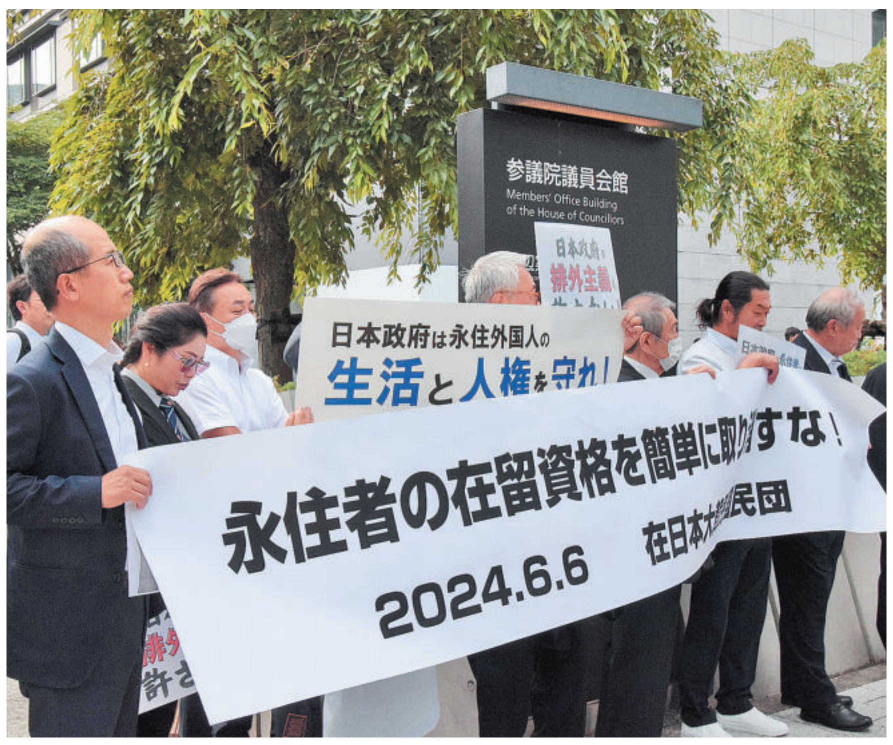
在日本大韓民国民団 綱領
一、우리는 大韓民国의 国是具現을 期한다.
一、우리는 在日同胞의 人権擁護를 期한다.
一、우리는 在日同胞의 経済発展을 期한다.
一、우리는 在日同胞의 文化振興을 期한다.
一、우리는 日本地域社会의 発展을 期한다.
一、우리는 世界平和와 国際親善을 期한다.

購読および広告掲載の申込み・お問い合わせ
TEL 03(3454)6375 FAX 03(5419)7555
公式サイト・スマホでも民団新聞が閲覧できます
公式サイト
mindan.org
電子紙面
mindan.org/newspdf.php

入管法改定案で緊急集会

「永住者の生活、脅かすな」

500人がシュプレヒコール


参議院議員会館
Members' Office Building of the House of Councillors
日本政府は永住外国人の
生活と人権を守れ！
排外主義
永住者の在留資格を簡単に取り消すな！
2024.6.6
在日本大韓民国民団

参議院議員会館前での緊急集会参加者

永住外国人の在留資格を取り消すことができる「入管法改定案」が5月21日、衆議院を通過し、現在、参議院で審議されている。民団は6日、同法案が永住者の生活を根底から脅かすものだとして「永住資格取消条項の削除を求める緊急集会」を参議院議員会館前で開いた。民団関東地方協議会をはじめ、大阪、愛知本部の団長ら約500人の在日韓国人が法案の是正を強く求めた。中央本部の金利中団長は「私たちは日本に住み、法律を守り、地域社会の発展にも貢献している。長年培った在日の歴史を崩しかねない永住権取消条項は何としても削除させなくてはならない」と訴えた。

法案は永住者が①税金や社会保険料を滞納②1年以下の拘禁刑を宣告された場合、法務大臣は永住者の資格を取り消すことができるというもの。納税滞納者らの取り締まりを強化し、地方自治体の職員らが入管庁に違法事実を通報できる制度まで新設している。

法案が修正もなく、このまま通過すると、日本に住む約89万人の永住者はいつでも国外に退去強制される立場に陥り、取り消しに怯える日々を過ごすことになる。

法案を審議中の参議院から仁比聡平(共産党)、福島みずほ（社民党）、牧山ひろえ、福山哲郎(立憲民主党)、大椿ゆうこ（社民党）議員が駆け付け、「戦前の排外主義を引きずる入管政策を許すのか」「権力が永住外国人の生殺与奪をもつことは許されない」と口々に抗議した。

衆議院からも河西宏一（公明党）、重徳和彦（立憲民主党）、本村伸子（共産党）議員が応援に駆け付け、「永住外国人が生活に不安なく過ごせるように」「ともに地域社会で育つ外国人と共生社会をめざそう」と呼びかけた。

東京華僑総会の陳隆進会長が激励に訪れたほか在日の諸団体から抗議と困惑の声が上がった。

在日本韓国人総連合会の田興培会長は「日本に来て27年。永住権は15年前に取得した。在留カード不携帯が公務員の通報一つで永住資格はく奪になる。永住者が被害にあわないよう闘おう」と訴えた。在日本東京韓国人連合会の金連植会長は「第二の故郷、日本が異文化を受け入れる大国になってほしい」と求め、新宿韓国商人連合会の鄭宰旭会長も「やっと手に入れた永住資格が一瞬にしてなくなる」と危機感を訴えた。

民団大阪本部の金明弘団長は「親の代から100年この国で生きてきた。経済、文化などあらゆる分野で貢献してきた私たちは日本にとってありがたいか、迷惑か」と鋭く問い、「永住者を仲間として受け入れ、新しいアジアのサンプルにしよう」と提起した。

「6・6緊急集会」の声明文を東京本部の李壽源団長が読み上げた後、在日韓国青年会の文英壽副会長のリードで「永住資格を簡単に取り消すな」「排外主義を許さないぞ」「生活と人権を守れ」とシュプレヒコールを響かせた。

亀尾文化院一行

参戦忠魂碑に献花

韓国・亀尾文化院の羅泰勲院長一行30人が5月21日、民団中央会館前に設置されている在日学徒義勇軍の韓国戦争参戦忠魂碑を参拝した。羅院長が碑に献花した後、中央本部を訪れ、民団を紹介するDVD鑑賞と歴史説明を通して在日社会への理解を深めた。

一行を出迎えた金利中団長は「民団は2年後に創立80年を迎える歴史ある組織であり、ソウル五輪をはじめ様々な本国貢献をしてきた。本国同胞にも在日の歴史をきちんと伝えてほしい」と要請した。

金団長、公明党と面談

民団中央本部の金利中団長、任泰洙議長、金春植監察委員長の三機関長と金政弘副団長、鄭文吉事務総長は5日、公明党の山口那津男代表、河西宏一衆議院議員、竹谷とし子、石川博崇両参議院議員と面談した。

山口代表は「新しい体制になったことを祝福する」と述べ、金団長は「公明党の皆さんには常にお世話になっている」と答えた。

公明党の山口代表らと面談した中央本部３機関長一行（左側）

東北・関東・中北で地協開催

「入管法」対策協議

今年度の地方協議会（地協）が5月20日の東北を皮切りに21日の関東、27日の中北と連続して開かれた。各会議には中央本部の金利中団長、金春植監察委員長らが同席し、「入管法改定案は日本に住む全外国人の永住権をはく奪する人権問題だ。是正を訴え続けよう」と強調した。6月6日に参議院会館前で開く入管法改定案に対抗する「緊急集会」で民団の強い意思をアピールすることを確認した。

20日に民団宮城県本部で開かれた東北地協では、秋田県本部の高美淑団長が「入管法改定案は日本生まれの2世、3世を含む永住者の居住を脅かす不当なものだ」と口火を切った。同本部の呉俊煥事務局長が地元紙「秋田魁新報」の社説を引用しながら、「地域に生活基盤をもつ在日同胞の立場を理解させるために各地域の言論機関に働きかけよう」と訴え、各本部がこの提案に同意した。

東北地協が一致団結して過去9回実施した次世代事業について、今秋の第10回次世代ＰＳ（プロジェクトセミナー）事業は対象年齢を18歳から50歳未満に絞り込んで実施することを決めた。会議には駐仙台韓国総領事館の金要燮総領事、仙台韓国教育院の朴慶羲院長が出席した。

21日の関東地協は民団神奈川県本部で開かれ、東京で開く「緊急集会」には、関東地協が動員の主体になり、入管法改定案是正の強い意思を内外に示すことを確認した。来賓として招かれた駐横浜韓国総領事館の金玉彩総領事は、5月18、19日に開かれた2024横浜韓日にぎわい祭りに言及。「前総理、県知事、横浜市長が臨席する中、2日間で5万人を集めた。大成功の原動力は民団だ」と高く評価した。

27日の中北地協は民団石川県本部で開かれた。

「納税を怠ったことで当局に通報され、やっと手にした永住資格を失う。公務員の恣意的な判断で国外追放される危険がある。入管法改悪を許してはならない」という意見が続出した。

会議に先立ち、中北地協の三機関長と中央本部の金団長、金監察委員長、駐新潟韓国総領事館の呉榮煥総領事らは、金沢市野田山にある尹奉吉義士殉国記念碑を訪れ、記念碑に献花、参拝した。

주일본대한민국대사관 · 재일본대한민국민단
영사협력단체 위촉 약정서 체결식
2024.5.15.(수) 16：00 주일본대한민국대사관

「領事協力団体委嘱約定書」を締結、調印した金利中団長（左）と尹徳敏大使

領事協力で調印

民団と大使館、同胞支援で

民団中央本部の金利中団長は5月15日、駐日韓国大使館で尹徳敏大使との間で「領事協力団体委嘱約定書」を締結し、調印した。

明文化された約定書への初調印は08年でこの間更新されてきた。全国の公館（大使館、領事館）が行う在外国民保護活動を民団が支援することが目的。在日同胞が災難や事件、事故に見舞われた場合に当該の民団が緊急対処することや現地での対応を求めている。

民団と各領事館との関係を明文化したことで、両者の関係がより一層強くなることが期待されている。約定期間は2年。

日韓親善協会総会開く

民団新体制を紹介

日韓親善協会中央会（河村建夫会長）の２０２４年度年次総会と懇親会が5月29日、都内のホテルで開催された。総会では、民団中央の役員変更について、金利中名誉顧問、趙龍済副会長、張仙鶴監事、李相哲常任理事が紹介された。

懇親会で尹徳敏駐日大使は、「5月27日にソウルで開かれた韓日首脳会談は柔らかい雰囲気だった。韓日関係は2年間で完全に信頼が回復したと思う」と述べ、金利中団長は「日韓協の皆様の力を民団の諸活動に貸してほしい」と訴えた。任泰洙議長、金春植監察委員長が同席した。

2024年度 年次総会・懇親会
日韓親善協会中央会
KKR HOTEL TO

24年度年次総会であいさつする河村建夫会長

立憲民主と意見交換

永住資格取消問題で要望

鄭文吉事務総長と生活局の李相哲副局長は5月15日、立憲民主党を訪れ、豊原昭二事務局長や同党幹部らと入管法改定案について永住資格が容易に取り消されることがないよう要望した。4月10日に公明党議員との意見交換に続くもので、中央本部は今後も各政党に粘り強く交渉を続けていく。

立憲民主党幹部と入管法改定案について意見交換する鄭文吉事務総長（左奥）

長津湖戦闘戦死者遺族へ DNA 鑑定にご協力

忘れてならぬ歴史！在日学徒義勇軍

韓国国防部は長津湖戦闘で戦死した兵士の遺骨 83 柱に対し、DNA サンプル鑑定による身元確認作業を行っております。
１柱でも多くの戦死者の遺骨をご遺族のもとにお返しすることが重要な目的です。ご協力お願いします。

◇長津湖戦死者◇
金炳基（東京）、都基讃（東京）、朴正文（東京）、李末学（東京）、崔丙宗（群馬）、嚴康永（宮城）、金順龍（三重）、劉三雄（三重）、李鳳寿（三重）、孔亨根（大阪）
李千喜（大阪）、金定玄（大阪）、康喜洙（兵庫）、朴龍泰（兵庫）、申正煕（兵庫）、尹命根（兵庫）、金在鳳（京都）、朴太鉉（京都）、金金泰（奈良）、朴魯植（奈良）
崔養鎮（和歌山）、金鳳相（広島）、趙命錫（広島）、韓英教（広島）、李利道（岡山）、崔用德（岡山）、朴在浩（鳥取）、姜渭洙（福岡）、康在伍（福岡）、権昌煥（福岡）
金君福（福岡）、金德守（福岡）、金富嗣（福岡）、金善洙（福岡）、金岩伊（福岡）、金連洪（福岡）、金英秀（福岡）、金章玉（福岡）、金正斗（福岡）、朴龍文（福岡）
方永旭（福岡）、白英根（福岡）、徐崎淳（福岡）、成在淑（福岡）、孫鎬俊（福岡）、宋榮碩（福岡）、宋宰玉（福岡）、申　賢（福岡）、申聖伯（福岡）、呉東洙（福岡）
兪信吾（福岡）、柳光植（福岡）、李榮根（福岡）、李龍洪（福岡）、李宰天（福岡）、張玉基（福岡）、鄭石守（福岡）、鄭守治（福岡）、鄭海堂（福岡）、趙炳淳（福岡）
秦在植（福岡）、崔吉雄（福岡）、韓東春（福岡）、韓昌雲（福岡）、黄淳彦（福岡）、黄泰龍（福岡）、金泰仁（長崎）、金学仲（長崎）、孫讃淳（長崎）、李良毛（長崎）
李相根（長崎）、張重東（長崎）、鄭泰進（長崎）、趙基玉（長崎）、孫相達（佐賀）、趙彙聖（佐賀）、張達奉（佐賀）、金永植（大分）、李仙基（熊本）、周洙會（熊本）
洪朝鶴（熊本）、金光来（熊本）、李基秀（鹿児島）

お問合せは、在日学徒義勇軍同志会　/TEL:03-3455-8381　E メール :dongjihoe@mindan.org

「生活相談センターなら」

20カ所目の開設

【奈良】民団奈良本部（李勲団長）は、団員の生活に密着した問題に対応するため5月27日、全国の地方センターとして20カ所目となる「みんだん生活相談センターなら」を開設した。

みんだん生活相談センターの金昭夫所長は「同胞の生活に直結する切実な問題に適切に対処するため、2007年に中央に開設した。弁護士、税理士、司法書士など43人の専門相談員が在籍している」と述べ、「奈良本部は同胞数が3300人と少なく、同胞同士の集まりが難しいが、生活相談センターの役割は重要だ。同胞の拠り所となり、着実に実績を重ねてくれることを願う」と期待を寄せた。

専門相談員の金紀子司法書士は相続に関して「手続きの中でいろいろと問題が起ってもあきらめずに、専門家に相談する窓口として生活相談センターを活用してほしい」と呼びかけた。

開設式には、民団奈良県本部の李団長、婦人会中央本部の劉代永会長、同奈良本部の権英孝会長ら20余人が参加した。

全国20番目に開設したみんだん生活相談センターなら

「二重国籍」テーマに

京都相談センターが講演会

【京都】みんだん生活相談センター京都は5月28日、民団京都本部で講演会を開いた。テーマは韓国の国籍法。府下の各支部に直接訪れる団員や電話の問合せで二重国籍問題が増えてきていることから、みんだん生活相談センター中央本部の協力を得て開催の運びになった。

京都本部の張祥一団長は「二重国籍は私たちの生活の中で身近な問題。しっかり聞き、理解を深めていただきたい」と挨拶し、殷勇基弁護士が韓国の国籍法を中心に二重国籍や兵役問題、永住権取消問題について話した。同本部の孔信根議長、黄正安監察委員長、婦人会同本部の鄭年子会長のほか、一般団員や留学生ら約50人が傾聴した。

参加者からは「今日の講演を聞いて本当に良かった。子どもたちにもしっかり伝える」との声があった。終了後は個別相談会も開いた。

韓国の国籍法を説明する殷勇基弁護士

在日テニス協会新会長

申永吉氏選出

申永吉新会長

在日本大韓テニス協会（申命根会長）は5月26日、大阪韓国人会館で2024年度定期総会を開き、新会長に申永吉前副会長を選出した。申会長は1969年生まれで、高校生時代の85年には韓国ジュニア代表となり、各種大会で優勝したプレーヤー出身。

89年には韓国ジュニア常備軍のコーチを歴任し、「世界的なテニスアカデミーをアジアに」との思いで、韓国最大のテニスアカデミーを創設し、後輩たちを育成してきた。テニス好きで知られる李明博元大統領もソウル市長時代には彼から指導を受けたことも知られており、土浦市と韓国のテニス都市の交流の後押しとなった。

04年に単身で日本に渡り、KCJテニスアカデミーを設立してジュニアを指導し、ジュニア世界チャンピオンを作りだしている。

「韓国国体に優秀な選手を派遣させ、将来は韓国国家代表を輩出することを目標に活発な活動を展開していきたい」と抱負を述べた。

金団長らが意見交換

創価学会・原田会長と

民団中央本部の金利中団長と任泰洙議長、鄭文吉事務総長一行は5月21日、創価学会本部を訪れ、原田稔会長と意見交換した。原田会長は民団中央本部の新体制を歓迎するとともに、学会の青年世代の代表が5月に訪韓し、各地で開いた韓日友好交流交歓会が成功裏に終了したと紹介した。

金団長は「政治に左右されない民間のつながりが韓日友好の礎であり、地道な草の根交流を継続する」と語った。

創価学会本部で原田稔会長と面談する金利中団長

世界柔道

許海実が金メダル

韓国女子、29年ぶり快挙

女子柔道世界選手権で優勝した許海実選手
（ＩＪＦ提供）

女子柔道韓国国家代表の在日3世、許海実選手（慶北体育会）が韓国選手としては6年ぶりに世界選手権大会のトップに輝いた。

5月21日（日本時間）、UAEのアブダビで行われた世界柔道選手権大会の女子57kg級決勝で、許選手は世界ランキング1位のカナダの出口クリスタにゴールデンスコア方式の延長戦の末、反則勝ちを収め、12分19秒の死闘を制して優勝した。

韓国柔道が世界選手権でトップに立ったのは2018年、在日3世の安昌林（男子73kg級）と趙グハム（男子100kg級）以来の6年ぶり。女子としては、1995年の鄭成淑（61kg級）、曺敏仙（66kg級）以来の実に29年ぶりになる。許選手はパリ五輪で金メダル獲得に挑む。

男子は韓国、女子は日本

日・韓大学バスケ大会

第47回李相佰盃日・韓大学代表バスケットボール競技大会が5月17日から19日までの3日間、東京渋谷区の国立代々木競技場第2体育館で開催された。

同大会は韓日の学生選抜チームによる3回戦制で男子が第47回、女子は第32回を数える。日本国内で開催されるのは2019年以来、5年ぶりとなった。

名称に含まれる李相佰（1904～1966年）は、韓国生まれで早稲田大学に留学し、バスケットボールの普及に貢献、韓日バスケットボール界の功労者となった人物。

1976年、李相佰の10回忌を記念して、韓国で早稲田大学を招待して大会が開かれた。この大会を定期戦として継続する構想があったが、早大側が両国学生の選抜チームによる交流戦を提案、1978年に第1回が日本で開催され、以来、毎年6月頃に韓日で交互に3試合開催されている。

女子は1985年に「韓日女子学生交流バスケットボール大会」として開催。1997年からは李相佰杯に統合された。

韓日両国のバスケットボール協会と大学バスケットボール連盟が共催、渋谷区と朝日新聞が後援している。

2チームによる3回戦制で同点の場合、延長戦は行わず、勝率の差で優勝とし、勝率が同じ場合、ビジターチームが優勝としている。

3日間の熱戦の結果、男子は韓国が2勝1敗で優勝、女子は3戦全勝で日本が優勝した。これで通算成績は男子が韓国の90勝37敗3分、女子は日本の61勝23敗3分となった。来年は韓国で開催。

オリニフェスティバルでボウリングの手ほどきを受ける

国体元選手ら ゴロゴロ指導

オリニボウリング教室

在日本大韓ボウリング協会（韓新悟会長）は民団東京荒川支部（鄭在桓支団長）、青年会東京本部（郭玹瑀会長）とスクラムを組んで、ボウリング教室と交流会を兼ねた「2024在日同胞オリニフェスティバル」を2日、開催した。約30人の同胞小・中学生が参加した。

同協会では2013年から毎年ゴールデンウィークの5月に開催していたが、コロナ禍のため、20年から3年間、中止を余儀なくされていた。昨年、コロナ禍が明けたことで4年ぶりに再開し、2年連続となった。

東京都墨田区のアイビーボウル向島で行われたボウリング教室では、韓国国体経験者など10人の在日ボウラーが指導した。今年は入門、初級、中級と、学年別に指導方法を変えた。高学年と中学生は子ども向けのマイボールも準備構成した。

ボウリングを終えた後は民団荒川支部会館に会場を移して、表彰式を兼ねたオリニ交流会が開かれた。運営に加勢した青年会東京本部のメンバーは、夏休みに開催するオリニ・サマーキャンプのチラシを配り参加を呼びかけた。

同協会は17年からは日本韓食振興協会（崔光礎会長）、民団荒川支部とコラボし、ボウリングとオリニ交流会をミックスさせてきた。韓会長は「毎年オリニたちの喜ぶ姿に力をもらう。将来、このオリニたちが韓国国体選手に育ってほしい」と笑顔を見せた。

各地で体育会総会

東京韓学初等部にユニフォーム贈呈

〈関東本部〉

在日本大韓体育会関東本部（文京一会長）は5月18日、東京・港区の韓国中央会館で第45回定期総会を開き、各競技団体と連携し次世代育成を主体としたスポーツ大会の展開など新年度活動方針を決めた。

報告では、コロナ禍の期間でも27年間欠かさずオリニ・ミニサッカー大会を継続したことが強調された。

新年度方針は韓国国体への優秀選手派遣、第28回オリニミニサッカー大会、関東テニス大会、オリニボウリング教室への支援などで、東京韓国学校初等部サッカーチームにユニホームを寄贈していくことも確認した。

モルック大会継続

〈中北本部〉

【愛知】在日本大韓体育会中北本部（南茂会長）の第51回定期総会が5月17日、愛知韓国人会館で開催され、会員ら35人が参加した。南会長は「スポーツを通じて、在日同胞社会の発展に寄与する団体として役員が一丸となって選手発掘などに邁進していく」とあいさつした。

在日本大韓体育会（宋栄奉会長）の朴相泓専務理事が宋会長のあいさつを代読した後、来賓の名古屋韓国総領事館の金星秀総領事が「在日同胞の健康増進を担うとともに、スポーツを通して韓日交流の役割を果たしてくれることを願っている」と期待を寄せた。

活動方針は第2回モルック大会の開催、自由参加型ボウリング大会フリータイムコンペ開催など。特別事業として各支部スポーツイベント支援事業の継続を決めた。

民団愛知本部の李豊宏副団長、蔡駿二議長、白慶欽監察委員長、民団岐阜本部の金尚道団長ら多数が参席した。

ボウリングフェスタを開催

〈九州本部〉

九州本部（任隆二会長）は5月18日、福岡韓国会館で第53回定期総会を開催し、新年度活動方針として①九州ボウリングフェスタ②韓国国体への選手派遣のほか、パリ五輪に出場する在日3世の女子柔道、許海実、金知秀両選手への応援などを決めた。

大会委任事項 追加人事発表

中央本部の任泰洙議長は5月8日、第56回定期中央大会の委任事項で未決だった副団長などの人事を発表（別掲）した。

《執行委員》
副団長　李元徹
中央執行委員　李元徹

《直選中央委員》
任泰洙 權清志 田虓玔 金利中 金政弘 金成日 李元徹
李圭亮 趙龍済 鄭文吉 河政男 韓賢澤 朴淳澈 崔潤
金和男 朴一 李成市 殷勇基 張界満 金昭夫 呉達夫
李正一 朴裁世 金泰煥 殷慶基 徐鶴奎 鄭郁 丁廣鎮
曺壽隆 許明信 崔峯奎 申正意 安容範 朴昭男 郭成浩
申龍男 柳基幸 韓一星 陳賢徳 李承哲 全玉勲 鄭康実
欠員6名

《常任顧問》
鄭鉉権

《顧問》
金秀吉 鄭幸男 成鍾泰 金建治 朴小秉 卞利長 徐東湖
高富仁 金時鐘 夫昇培 鄭博 崔相英 金光一 金定子
朴善岳 朴義淳 趙成允 金芳秀 裵善鉀 韓清二

愛知13支部 広島訪問

原爆慰霊碑を参拝

【広島】民団愛知県本部管轄の13支部の支団長で構成する「愛知13人会」（鄭友宏会長、民団瀬戸支部前支団長）は5月11、12の両日、広島平和公園内の韓国人原爆犠牲者慰霊碑を参拝した。昨年11月から企画していた。

初日は支団長や事務部長ら13人全員が慰霊碑前で黙とうを捧げ献花した。参拝後は民団広島県本部（金基成団長）を訪れ、「平和学習会」として韓国原爆被害者対策特別委員会の権俊五委員長から、原爆被害について講義を受けた。同本部の金団長や広島韓商の李英俊会長らも参席した。

鄭会長は「慰霊碑を参拝できたことは感無量だ。権委員長の話に原爆の悲惨さを改めて感じ、有意義な研修になった」と話した。

「愛知13人会」は、2022年、民団愛知県本部の新執行部スタートとともに各支部間の意見交換がスムーズになることを目的に発足した。

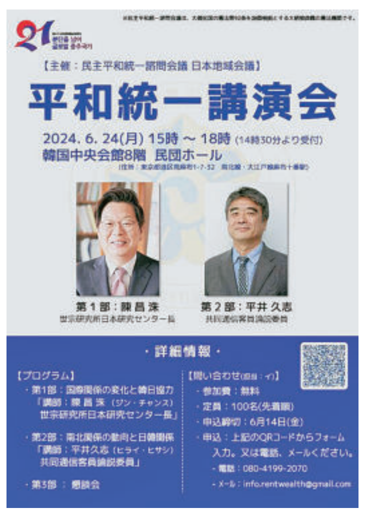
民団ホールで

平和統一講演

民主平和統一諮問会議日本地域会議（孫栄泰副議長）は6月24日(月)15時～18時、韓国中央会館（民団中央本部）8階ホールで韓日の講師を招いて平和統一講演会を開く。

韓国側は陳昌洙・世宗研究所日本研究センター長が「国際関係の変化と韓日協力」、日本側は平井久志・共同通信客員論説委員が「南北関係の動向と日韓関係」について語る。

参加費は無料。定員は先着100人。6月14日まで案内状のQRコード、または電話（080－4199－2070）かメール（info.rentwealth@gmail.com）に申し込む。



【主催：民主平和統一諮問会議 日本地域会議】

平和統一講演会

2024. 6. 24(月) 15時 ～ 18時 (14時30分より受付)
韓国中央会館8階 民団ホール

第1部：陳昌洙
世宗研究所日本研究センター長

第2部：平井久志
共同通信客員論説委員

・詳細情報・

【プログラム】
・第1部：国際関係の変化と韓日協力「講師：陳昌洙（ジン・チャンス）世宗研究所日本研究センター長」
・第2部：南北関係の動向と日韓関係「講師：平井久志（ヒライ・ヒサシ）共同通信客員論説委員」
・第3部：懇談会

【問い合わせ】
・参加費：無料
・定員：100名(先着順)
・申込締切：6月14日(金)
・申込：上記のQRコードからフォーム入力。又は電話、メールください。
・電話：080-4199-2070
・メール：info.rentwealth@gmail.com

在日余話

2・8独立宣言から3・1運動へ

1919年の3・1独立運動の導火線となった日本での2・8独立宣言は、私たち在日同胞の誉れある歴史だ。

その日、雪が降りしきる東京の旧在日本韓国YMCA会館には600人を超える留学生が集まり、「韓国青年独立団」の「独立宣言式」が行われた。そして「2・8独立宣言」を高らかに朗読し、独立万歳の声が講堂に響き渡った。

しかし、すぐさま日帝官憲が会場に押しかけ27人がその場で逮捕された。

祖国独立に燃える20代の若き青年たちの熱情は、恐れを知らなかった。ある女学生は複写した独立宣言書10枚ほどを服の中に隠して帰国し、それが3・1独立運動の口火を切った。ある学生は上海に渡り、それが大韓民国臨時政府樹立の契機となった。

官憲の厳しい監視下にあっても2・8独立宣言式で逮捕拘束されなかった青年たち約100人は、4日後の12日に皇居に隣接する東京日比谷公園で独立宣言書を再び発表しようとして13人が検束された。

さらに翌20年の3・1独立運動第1周年には、東京の日比谷公園で留学生ら約200人が「万歳デモ」を行い、女学生7人を含む53人が逮捕された。その翌年の独立運動第2周年にも、そして第3周年にも留学生を中心に韓国の青年たちが日比谷公園、上野公園などで3・1記念集会を開催し、太極旗をかざして万歳行進を開始しようとするも、その度ごとに多くの若者が官憲に逮捕されていった。

祖国全土で繰り広げられた19年の3・1独立運動を目の当たりにした17歳の青年がその年、日本に渡り、東京で同胞の抗日人権闘争を開始する。その名は朴烈。後の民団中央初代団長だ。

1919年は我が同胞にとって祖国独立、平和、自由、民主主義の崇高なる民衆運動の出発の年であり、その崇高なる命脈を継承する我が在日同胞と民団にとっても1919年は原点の年であることを忘れてはならない。Ⓜ

日本と韓国のゴルフ会員権の売買 ご相談ください
ゴルフ場売買、ゴルフツアー
YURI GOLF
http://yurigolf.jp
株式会社 百合ゴルフ
電話 03-3226-1139（担当・成田）
〒160-0012 東京都新宿区南元町 4-15-408 / FAX 03-3226-1130
金承哲税理士事務所
税金、相続、不動産売買（韓国専門）

2024年5月13日(月)～2024年8月31日(土)までの期間限定金利
銀行は金利だ！
はじめての定期預金〈はじめくん〉
新規のお客さま限定　預金保険制度対象
3カ月もの 年1.20%（税引後年0.956%）
4年もの 年0.75%（税引後年0.597%）
SBJ銀行
SBJ銀行の円預金は安心の元利金保証・預金保険対象です。

特別キャンペーン　大阪市内にお住いの方 送料無料　おいしいお水 ペットボトル500ml 64.8円（1本）
済州 三多水
済州島の地下水でつくるミネラルウォーター
製造元：済州特別自治道開発公社
済州の豊かな大自然が育んだ自然の恵み
1ケース24本入り

発注単価（ケース）	ケース／24本
72本／3ケース以上ご注文の場合	500ml 64.8円／1本
48本／2ケースご注文の場合	500ml 84円／1本

※大阪市内以外は別途送料
エアーレス・ウォーター株式会社
http://www.airlesswater.co.jp
〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目23-21
TEL.06-6944-0178　FAX.06-6944-0177
営業時間 月～金 9:00～17:30（土・日・祝日・夏季、年末年始休業を除く）
(社)日本宅配水&サーバー協会・日本水素水振興協会
お申込みは 0120-771-678
メールでのお申込みは contact@airlesswater.co.jp

李藝の銅像除幕式

民団京都本部前に

「韓国文化の発信に期待」

朝鮮通信使で来日４回

李藝銅像除幕式に臨んだ民団京都本部関係者

【京都】 通信使李藝銅像除幕式が5月9日、民団京都本部会館前のオープンスペースで執り行われ、約120人が出席した。張祥一団長は「銅像建立にご尽力いただき、わざわざ本国からお越しいただいた李藝記念事業会の梁明学会長や高麗大学の李明勲名誉会長ら関係者に敬意を表する」と謝辞を述べた。

続けて「昨年3月に文化庁が京都に移転し、文化の首都は京都であるという認識ができつつある。京都民団は毎年、朝鮮通信使京都再現行列を実施し、京都を訪れる世界の人々に披露している。李藝の銅像は韓国文化を発信する役割を果たすことができる」と期待を込めた。

建立者を代表して李藝記念事業会の梁会長が挨拶した後、韓国外交部の趙兌烈長官の祝辞を駐大阪韓国総領事館の金亭駿総領事が代読した。梁会長と李名誉教授は民団京都新会館建設に寄付金を伝達した。朴振国会議員、金起炫国会議員、金斗謙蔚山広域市長らから祝電が届いた。

除幕式には、孔信根議長、黄正安監察委員長のほか、京都韓商の金廷守会長、婦人会本部の鄭年子会長が参席した。

「外交を輝かした人物」

韓国政府が業績認め選定

李藝は朝鮮通信使の副使、正使として4度来日した。

◇1422年初来日

1422年、朝鮮通信使の副使として初めて来日。日本歴史書『看聞日記』に記録。室町幕府第5代将軍の足利義持に京都の宝幢寺（現在の鹿王院で引見。

24年、副使として再来日。歴史書『善隣国宝記』に記録。足利義持に京都の等持寺で引見。

28年、副使として再再来日。歴史『満済准后日記』に記録。第6代将軍の足利義教に京都の仁和寺等持院で引見。

32年、初の正使として最後の来日。歴史書『薩戒記』に記録。足利義教に京都の室町第で引見。

◇李藝の主な業績

1443年の嘉吉条約（癸亥約定）により、倭寇の禁圧と両国貿易の統制を図った。拉致された朝鮮人の送還で43年間で通算667人を送還した。釣魚権の協約で西餘鼠島での釣魚権を許容した。

韓国外交部は、朝鮮末期の北方外交交渉を通じて、領土の保全と国益の守護に貢献したとして、2010年に「わが国の外交を輝かした人物」に選定した。

旧青山トンネル殉難同胞を追悼

―民団三重県本部など

殉難者慰霊碑で参拝する民団三重本部の洪光子団長

【三重】 1928年から30年にかけて、大阪から伊勢までを一本のレールで結ぶ三重県一志郡から名張に抜ける青山隧道の3年間の工事中に、犠牲となった同胞8人と日本人8人を偲ぶ「旧青山トンネル工事殉難者慰霊祭」が5月19日、名賀郡青山町伊勢路の供養塔前で営まれた。

民団三重本部（洪光子団長）と三重県日韓親善協会（山口久彦会長）の共催で今年で21回目になる。洪団長は「雨の中、たくさんの参加に感謝の気持ちでいっぱい。慰霊祭をこれからもしっかりと守り、次世代につなげていく」と述べ、山口会長も「隣人の友人として、民団とともに力をあわせこれからも尽力していく」と語った。慰霊祭には、駐名古屋韓国総領事館の金星秀総領事はじめ民団三重本部の金徳俊議長、呉相龍監察委員長、婦人会三重本部の尹栄子会長、三重韓商の兪柄煥会長、名張駅の久保博嗣駅長ら34人が参加し、青山町善福時の香取法彦住職の読経が流れる中、参加者全員が焼香し、冥福を祈った。

被災同胞に義援金を伝達

能登地震　金団長ら3軒訪問

【石川】 民団中央本部の金利中団長、金春植監察委員長、李相哲生活局長は5月26日、能登半島地震で被災（大規模半壊など）した七尾市とかほく市在住の同胞宅3軒を訪れ、義援金を伝達した。民団石川県本部の関興基団長、金聖弼議長が同行した。

被災同胞は民団の支援に謝意を示しながらも「家は住める状態ではなく解体する予定だ」「周りの家は焼失や全壊が多く、5軒に3軒はなくなった。今も地震後の1月のままでうんざりする」と心境を吐露した。

被災者に義援金を伝達する左から民団石川県本部の関興基団長、金利中団長、金春植監察委員長

埋もれた歴史に迫る

関東大震災　ドキュメンタリー映画

東京で試写会

参院議員会館での試写会であいさつする金台榮監督

関東大震災直後に流言飛語の犠牲となった同胞を悼む韓国ドキュメンタリー映画「1923　関東大虐殺」（共同監督＝金台榮、崔圭碩、1時間17分）の特別試写が5月13日、参議院議員会館で開かれた。

当時の記録映像や様々な史料、目撃者たちの証言などでたんたんと事件の真相に迫っている。特に1923年9月、横浜港に入港した英国海軍のジョージ・ロスさんが虐殺の現場で撮影したとされる写真は、本作品の核となっている。この写真は韓国在住の写真収集家、チョン・ソンギルさんが保管していたものだ。当時の米国務省と朝鮮総督府の史料なども発掘して初公開した。

総監督を務めた金さんは「声高に日本政府の責任を告発するのが作品の目的ではない」と語り、心を動かしたのは、関東各地の虐殺現場で隠された歴史事実を粘り強く掘り起こし、追悼を続けている市民団体の「心優しい」姿だ。日本に来て初めてこの事実を知った金監督は撮影中、何回も涙を流したという。

映画の冒頭、東京・墨田区の荒川河川敷近くの私有地に建てられた「追悼碑」の前で手を合わせている若い女性の姿が象徴的だ。震災から100年を契機に韓国・朝鮮人犠牲者追悼行事を引き継いだグループ「100年」（ペンニョン）のメンバーの一人だ。

あいさつの中で、金監督は「決して悲しい映画ではない。日本人が一生懸命調査、追悼を続けてきた。その意志と力を見せる希望的な映画だ。お互い歴史に真正面から向き合うのが大事だ。韓国と日本がより良い関係になることを願う」と強調した。

7月末から8月7日にかけて韓国で公開される予定。

「差別と偏見に抗い、平和を創る」

宋富子さん　半生を赤裸々に

セミナー

在日韓国人2世の宋富子さん（83、高麗博物館名誉館長）が5月23日、東京・港区の韓国中央会館で開かれたセミナー席上、不条理な差別と偏見に抗（あらが）ってきた半生を赤裸々に語った。多文化共生をライフワークに掲げる一般社団法人KJプロジェクト（裵哲恩代表、神奈川）が主宰した。

宋さんは奈良県橿原市の被差別部落と呼ばれてきた地区の出身。2歳の時にアボジは病死。オモニは36歳で13歳を頭に1男5女をリヤカーを引き、「ボロ買い」をして育てた。小学校に入学すると、周りの子どもたちから「チョーセン人」と白い目を向けられ、幾度となく理不尽ないじめにあってきた。

学校に行くのが恐怖となり、3年生になると死ぬことばかり考えるようになった。線路上に体を横たえたり、池に飛びこもうとしたことも。中学校を卒業しても新聞も読めない、計算もできない。無知だった。社会に出てからは出自に悩まされ、あえて戸籍謄本をとる必要のない臨時雇いの工員を転々とした。唯一の望みは日本国籍を取得することだった。

転機となったのは川崎市で結婚し、子どもを在日大韓基督教会川崎教会の運営する桜本保育園に預けたこと。入園から間もない父母会で李仁夏牧師は「ありのままに自分を愛すること」の大切さを語り、親子で民族名を使用するよう勧められた。31歳になるまでありのままの自分を愛することなど考えたこともなかった宋さんは「体に電流が流れたような衝撃を覚えた」。

「川崎歴史ミュージアム」設立を訴える宋富子さん

翌日、聖書研究会に参加し、人間の尊厳を取り戻していった。高価な宝石と和服を処分し、歴史の本を買い、必死の思いで古代からの善隣友好の歴史を学んだ。そして、不条理な差別と偏見は無知から生まれることを知った。自分の使命は差別と偏見を排して平等と平和な社会を創ることであると信じた。李牧師の元で人権活動に走り回り「川崎子どもを守るオモニの会」を立ち上げ、市営住宅入居、児童手当、教育委員会との交渉の結果、教育委員会は民族名を名乗る教育を「川崎市在日外国人教育基本方針」を出し、地域の学校でともに生きる取り組みが始まった。

多文化共生の歴史資料館を

当時から在日1世の苦難の歴史を知らせる多文化共生の歴史資料館を川崎市内に建設することを願ってきた。31歳の時からは植民地支配にあった朝鮮から日本に渡日した1世の歴史館建設を考えた。「過去の歴史から人間は英知を授かります。未来を担う在日子弟がルーツに誇りをもって生きるためにも2世がやらなければいけないことを成して生きるのです」と語る。50年間、温めてきた夢は「多文化共生をめざす川崎歴史ミュージアム」。昨年から実現に向けてようやく動き出した。現在、会費と寄付で470万円集まっている。目標は5000万円。

オノ・ヨーコさんの言葉「一人で見る夢は夢に終わるが、みんなで見る夢は実現する」を大事にしている。6月22日14時から「みんなの家」3階で講演を兼ねた総会を開催する。趣旨に賛同する方の参加を呼びかけている。

問い合わせは〒210－0833　川崎市川崎区桜本1－8－22　社会福祉法人青丘社　みんなの家気付　電話090－5535－5051。

「被害」「加害」二項対立越え

持続可能な韓日関係探る

国際和解学フォーラム開く

「被害」「加害」という従来の二項対立を超え、「平和のための国際和解学」の視点から持続可能な韓日関係の構築をめざす第2回国際フォーラムが5月14日、東京・新宿の早稲田大学大隈講堂で開かれた。早大の地域研究機構国際和解学研究所（浅野豊美所長）と韓国の国立全南大学校（鄭聖澤総長）が共催した。

「国際和解学」とは2020年に学会が設立されたばかりの比較的新しい学問分野で、国際的に対立する国民同士の和解をめざしている。浅野所長は「国民相互の『共感』の回路を回復していくためのもの」と規定している。開会辞を述べた早大の須賀晃一副総長は「政権交代でも動じない国民間の相互理解を促進する場」とフォーラムの意義を述べた。

第1セッションでは両国の研究者が主題発表に立った。

全南大の李晟遠教授は韓国、中国、日本が古代から開放的で包容的な交流の歴史を育んできたことについて、奈良時代の遣唐留学生だった阿倍仲麻呂（698～770年）と平安時代の入唐求法僧、円仁（794～864）に着目。20世紀に入ってからは対立と緊張関係にあった韓国と中国の囲碁界から内弟子を迎えた瀬越憲作を取り上げた。

内弟子の一人、曺薫鉉はプロ通算1900勝に迫る前人未到の記録を打ち立てたことは記憶に新しい。李教授は「人道的に和解の姿を一貫して見せてくれた」と瀬越を称えた。

「平和のための国際和解学」を提唱したフォーラム（早大大隈講堂で）

一方、日本大学の小林聡明教授は、在韓被爆者をめぐる日韓両政府の対応をつぶさに検証しながら、和解への意志とそれを実現していくことの困難さを論じた。

第2セッションでは市民やジャーナリストが発題者として登壇し、わかりやすい事例と言葉でそれぞれの「和解」論について語った。

著名な漫画家で古代史の専門家としても知られる里中満智子さんは「ぎくしゃくした時どう近づけるのか。双方が仲良くなりたいと思わないと国際和解は成立しない」と持論を述べた。自らの作品が韓国国内で違法にコピーされた時は漫画界の大御所的存在のちばてつやさんとともに訪韓し、韓国の漫画家と意見交換、同じ感動を分かちあったという。

かつてソウル支局長を歴任した朝日新聞の箱田哲也論説委員も「すべてのスタートは相手に対するリスペクト（尊敬の念）。好き嫌いといった感情ではなく、相手を相対化して知ることから始まる。政治家より市民の方が両国関係をけん引している」と強調した。

第3回和解学フォーラムは今年9月、韓国全南大学校で開催する予定。

属性で縛るヘイト問う

「在日の金くん」裁判始まる

「在日の金くん」という記号のもと、インターネット上の投稿でヘイトスピーチを受けた在日韓国人3世、金正則さん（69）による損害賠償請求訴訟の第1回口頭弁論が5月30日、東京地裁で開かれた。

この日の法廷には収容人員を上回る約40人の傍聴希望者が詰めかけたものの、裁判長から特に退場を迫られることなく、異例ともいえる立ち見が許された。

訴状によれば、金さんは50年近い付き合いのある高校当時の同窓生から「朝鮮人は明らかに性犯罪が多いですね」「君たちの大切な仲間がまた重大な犯罪を犯したよ」「お前が賠償しろ」などといわれなき侮辱を受けた。こうしたヘイト被害は2021年3月から今年1月まで続いた。

「在日の誰々」はたとえ通名であれ、すべての「在日」に緊張と恐怖を与えものであることは当事者なら誰もが知っている。金さんは『在日の金君』という記号は『出自で特定個人を縛る』『在日と口にすれば優位に立てる』という醜悪な「属性差別表現」が加わったヘイトスピーチだ」と意見陳述した。もはや個人の問題ではなく、属性で縛る表現が子どもや孫ら次世代に及ぼす影響を考えての提訴だった。

提訴後の報告会で原告代理人の神原元弁護士は「日本では差別そのものが犯罪になってはいない。しかし、今回はその人の属性に基づく。差別そのものが違法だと訴えて闘っていく」と決意を述べた。

裁判では名誉棄損ないしは侮辱罪で被告に110万円の慰謝料を求めている。この日、被告側は出廷せず、答弁書で請求棄却を求めた。

第105回全国体育大会・慶尚南道2024
The 105th National Sports Festival
在日同胞優秀選手を募集

在日本大韓体育会では2024年10月11日から17日まで、慶尚南道で開催される、第105回全国体育大会(韓国国体)に派遣する、在日同胞の優秀選手を募集しています。

韓国国体は、各市・道の厳しい予選を勝ち抜いた韓国国内の地域代表選手と、世界18カ国の海外同胞選手が一堂に会する韓国最大のスポーツ大会です。

韓国代表も含めたトップレベルの選手たちと各国海外同胞選手が技を競い、交流を深める場となっています。

さらに、在日同胞アスリートにとっては、韓国代表に選抜されるチャンスとなっています。

在日同胞選手団の募集競技

●海外同胞競技
▼テニス▼サッカー▼ボウリング▼ゴルフ▼卓球
▼スカッシュ▼テコンドー▼剣道

●国内競技
▼陸上▼水泳▼ボクシング▼レスリング▼重量挙げ
▼柔道▼アーチェリー▼体操▼フェンシング
▼ヨット▼乗馬▼カヌー▼ウシュー▼近代5種
▼ボディービル▼トライアスロン
▼他全47競技（第104回大会基準）
※競技年齢区分：男女ともU18の部（旧高校の部）、大学の部、一般の部

GYEONGNAM 2024
제105회
전국체육대회

開催日時　2024年10月11㊎～17日㊍
開 催 地　金海市と慶尚南道17市郡
主　　催　大韓体育会(後援：文化体育観光部)
参加費用　選手団の航空費・宿泊費・食費等は本会で負担します

出場資格
❶海外同胞競技
◆2006年9月1日以前の出生者(満18歳以上)
◆韓国国民で日本に1年以上の居住者
◆韓民族をルーツに持つ日本居住者
※プロ及びプロ経歴者は参加できません
❷国内競技
◆韓国国籍保持者（重国籍含む）
◆2024年4月時点で高校生以上

皆さんのご周囲の優秀なスポーツ選手をぜひ体育会までご紹介下さい。
■□問い合わせ先：「第105回 全国体育大会」在日同胞選手団事務局
TEL(03)3454-8894　FAX(03)3454-8895　e-mail：info@kscj.org

横浜から韓日友好発信

にぎわい祭り ５万人が満喫

K-POPや箏の演奏

両国のグルメも楽しむ

２日間で５万人を集めた横浜韓日にぎわい祭り（５月18日、横浜象の鼻パーク）＝駐横浜韓国総領事館提供

2024横浜韓日にぎわい祭り（主催・同実行委員会、共催・駐横浜韓国総領事館）が5月18、19の両日、横浜象の鼻パークで開かれ、2日間で約5万人の観衆がK-POPやダンス、韓日のグルメを楽しんだ。

18日のオープニング公演では、在日3世でオペラ歌手の佐田山千恵さんが「歌曲新アリラン」やプッシーニのイタリア歌曲をソプラノで歌った。日本側からは神奈川県庁職員で構成する横浜都築太鼓が勇壮な和の音を響かせた。

祭りの共同委員長を務める横浜市の田野井一雄市議と民団神奈川県本部の李富鉄団長が「韓国の総領事館がある横浜から日韓友好を全国に発信しよう」と二人で力強く開会を宣言した。

駐横浜韓国総領事館の金玉彩総領事は「昨年に続き2回目の開催となった。日韓議員連盟の菅義偉会長（前首相）をはじめ、神奈川県の黒岩祐治知事、横浜市の山中竹春市長、韓日議員連盟の金碩基副会長、日韓親善協会中央会の河村建夫会長らをこの場にお迎えすることができた」と来賓に謝意を伝えた。続けて「韓日両国のシャトル外交が12年振りに再開し、首脳会談も7回実現した。来年は国交正常化60周年を迎える。政治の分野だけでなく、民間交流の後押しが関係維持には必要だ」と強調した。

日韓議連の菅会長は「両国の文化をより深く知る有意義な企画を通して相互理解と絆を深めてほしい。議連としても両国民が関係改善を実感できるように努力したい」と述べた。

来賓が祝辞を述べた後のステージでは、K-POPのカバーダンスやピアノ演奏、日本の箏と金オルさんが奏でる韓国のカヤグムの演奏などが披露された。クライマックスは元東方神起のパク・ユチョン。大きな歓声に包まれる中でファンを魅了した。

キムチやプルコギやチジミなどの韓国料理に交じってビールや焼きそば、焼き鳥などのブース、韓国旅行を促す韓国自治体のPRコーナーもにぎわった。

2024横浜日韓 にぎわい祭り 実行委員会
未来少年（ＭＩＲＡＥ）の公演に黄色い歓声があがった

大学生 韓服を着て礼節学ぶ

多彩な国籍の参加者 韓国文化にひかれ

―東京韓国文化院

試着した韓服で礼節を楽しむ大学生

韓服を試着して礼節を楽しむ無料の体験イベントが5月27日、東京・新宿の韓国文化院で開催された。一般社団法人韓服普及協会（李香順代表理事、東京・新宿）が大学生を対象に企画した。

大学生21人が参加。お気に入りの韓服とブローチ、髪飾りなどを選んだ。

身支度を終えるとコッシンを履いて館内の韓国庭園「ハヌル庭園」に出るや、来館者からすかさず「カワイイ！」と感嘆の声が上がった。参加者はそれぞれの晴れ姿をスマホで撮影しあった。

この後、3つのグループに分かれて施設内の伝統韓屋「サランバン」に移り、目上に対する最も丁寧で正式なお辞儀「クンジョル」の作法を李代表から学んだ。

参加者は首都圏の早稲田大や東京外大、明治大、目白大などの韓国語学科に籍を置く。もともとK-POPやドラマなど韓国文化が好きというのが共通項だ。たまたま学内の掲示板を見たり、教職員から勧められたという。国籍も多彩で、在日韓国人や中国、ベトナム、ウズベキスタンからの交換留学生も見られた。1年間の予定で東京外大に籍を置く中国からの交換留学生は「とてもいい勉強になった」と話していた。

同イベントは2013年から始まった。コロナ期間中は開催を自粛したため今年が通算8回目。李代表は「若い方に韓国の文化と触れ合ってもらい、もっと好きになってもらえたらと始めた。大学の教職員が参加を勧めてくれたと聞いて、感謝の気持ちでいっぱい」と話した。

「大きいの採れたよ」

イチゴ狩りオリニも楽しむ

八尾支部

「大きいイチゴが採れたよ」と大事に運ぶオリニ

【大阪】民団大阪・八尾支部（許玉姫支団長）の恒例行事「イチゴ狩り&BBQ大会」が5月30日、近隣の「八尾農園」で開かれた。許支団長はじめ朴清常任顧問を中心に、団員や家族、同支部の韓国学院、オリニバン、街角デイ・通所介護利用者らのほか、民団大阪・旭都島支部（孫永房支団長）団員も一緒に加わり、オリニから大人まで120人が参加した。

当日は晴天に恵まれ、オリニたちは「大きいイチゴが採れたよ」と大はしゃぎ。かごはあっという間に真っ赤なイチゴでいっぱいになった。

支部会館横の駐車場では、焼き肉やたこ焼き、焼き鳥などのBBQ大会も開かれた。

許支団長は「たくさんの団員たちが参加してくれて、感謝の気持ちでいっぱい。オリニたちの喜んでいる笑顔がうれしい」と話した。

韓国人無料招待

Jリーグ名古屋 16日の湘南戦で

【名古屋】Jリーグ名古屋グランパスでは、韓国代表のハ・チャンレ（河昌來）選手が移籍加入したことを受け、6月16日（日）18時、豊田スタジアムで開催される対湘南ベルマーレ戦で「韓国人スタジアム観戦無償ご招待」を実施する。

民団愛知県本部・支部で配布するチラシ（コピー可、スマホで画像提示も可）を当日スタジアムに持参すれば、チラシ1枚につきチケット4枚まで引き換えできる。

問い合わせは民団愛知県本部、各支部へ。

力道山生誕100年記念、ミニ企画

在日韓人歴史資料館 常設展に姜徳相コーナー

在日韓人歴史資料館が韓国中央会館（民団中央本部）1階ロビーでミニ企画として在日の永遠のヒーロー、力道山生誕100周年記念「四つの名を持つヒーロー、力道山」を展示している。12月26日まで。入館料は無料（常設展示室は有料、大人200円・学生100円）。詳細は下記リンクのチラシを参照。

www.j-koreans.org/images/2024rikidozan100th01.png

常設展示に新しく同館の初代館長を務めた姜徳相コーナを設けた。関東大震災朝鮮人虐殺を世に問い続けた故人のパネル、原稿、私物が展示されている。

関東大震災100周年記念特別企画展の「1923－2023歴史の証言者たち」も展示中。

（団体見学は予約要）

趙寿玉
卞仁子
ピョン・インジャ
金一志

同胞女性舞踊家 ３人が初の競演

来月６日、東京で

同胞女性の舞踊家3人が初めて競演する「三人三色物語Ⅰ」が7月6日（土）15時、東京の梅若能楽学院会館（中野区東中野2－6－14）で開かれる。

出演者は10歳から韓国伝統舞踊を学んだ大阪出身の在日2世、卞仁子さん、国家無形文化財サルプリ舞履修者の趙寿玉さん、2017全国国楽総合コンクール大賞の金一志さん。演目はシナウィ合奏、サルプリ、僧舞、長鼓舞など。

◆読者プレゼント

観覧ご希望の方5人にチケットをプレゼントします。

ハガキに①住所②姓名③電話番号④観覧希望と明記し、〒106－8585 港区南麻布1－7－32 民団新聞読者プレゼント係までお送り下さい。メールの場合は、heoleunbae@yahoo.co.jp宛てです。応募者多数の場合は抽選します。

地方掲示板

6月の予定

■民団関連行事

◆韓国商工会

「第62期定期総会・懇親会」＝27日17時半／雅叙園

◆婦人会中央

▽本部「第295回全国大研修会・関東地協」＝11日～13日／群馬磯部温泉▽本部「第296回全国大研修会・中北地協」＝18日～20日／和歌山県白浜温泉▽本部「第297回全国大研修会・近畿A地協」＝24日～26日／和歌山県白浜温泉▽本部「第298回全国大研修会・近畿B地協」＝26日～28日／和歌山県白浜温泉

◆東　京

▽本部「団長杯ボウリング大会」＝15日14時／東京ポートボウル▽目黒支部「親睦交流会」＝18日～20日／長崎

◆長　野

▽本部「オリニ土曜学校」＝15日、29日15時／本部会館▽本部「韓国文化講座・ポジャギ」＝23日10時、13時／本部会館

◆新　潟

▽本部「オリニ土曜学校」＝15日10時／本部会館▽本部「韓日友好文化・歴史探訪」＝22日～25日／韓国ソウル

◆宮　城

▽本部「サランバンみやぎ」＝毎週木曜日11時／本部会館▽本部共催「韓国料理教室」＝19日10時／本部会館▽本部「オリニハングル学校宮城」＝毎週土曜日14時／本部会館▽本部「敬老旅行」＝24日～26日／鳴子やすらぎ荘▽本部「韓国文化体験伝統舞踊」＝毎週水曜日15時／本部会館

◆秋　田

▽県南支部「定期総会」＝26日12時／湯沢市▽本部「生活相談センター相談日」＝29日11時／イヤタカジョージアンホール

◆愛　知

▽本部「生活相談センター・弁護士相談日」＝21日14時／本部会館▽本部「生活相談センター・司法書士相談日」＝13日、27日14時／本部会館▽本部共催「第61回韓日歴史・文化フォーラム」＝26日18時／本部会館

◆大　阪

▽生野西支部「卓球教室」＝毎週日曜日10時／支部会館▽婦人会「卓球教室」＝毎週月曜日13時／本部会館▽堺支部「ヨルベ会」＝毎週月曜日13時半／支部会館▽婦人会「国語教室」＝11日、18日13時半／本部会館▽本部「大阪韓国学院1学期韓国語講座」＝毎週火曜日18時半／本部会館▽生野西支部「おとなハングル教室」＝毎週水、金曜日16時半／支部会館▽生野西支部「こどもハングル教室」＝毎週水、金曜日17時／支部会館▽生野中央支部「メアリ講座」＝毎週水曜日18時（民謡）、19時（チャング）、20時（舞踊）／支部会館▽本部「大阪韓国学院1学期韓国語講座」＝毎週火、木曜日18時半、毎週水曜日10時、18時半／本部会館▽本部「生活相談センター相談日」＝19日18時半（夜間）・21日14時／本部会館・11日、25日14時／生野西支部会館▽婦人会「オモニコーラス」＝14日、21日11時／本部会館▽堺支部「ヨルベ会」＝毎週金曜日12時／支部会館▽本部共催「カラオケ教室」＝19日13時／本部会館▽中央支部「済州4・3事件歴史勉強会」＝21日18時／支部会館▽生野中央支部「テコンド教室」＝毎週月曜日18時、土曜日13時半／支部会館▽生野中央支部「韓国語教室」＝毎週火曜日19時／支部会館▽生野中央支部「韓国文化教室」＝毎週水曜日19時／支部会館▽生野中央支部「卓球クラブ」＝毎週木、金曜日19時／支部会館

◆兵　庫

▽西宮支部「韓国ノレ教室」＝毎週月曜日11時／支部会館▽西宮支部「カフェ西宮」＝毎週火曜日13時／支部会館▽宝塚支部「チャング教室」＝18日19時／支部会館▽西宮支部「ヨガ教室」＝毎週水曜日10時半／支部会館▽西宮支部「韓国ノレ教室」＝毎週水、木曜日14時／支部会館▽西宮支部「イキイキ体操」＝毎週木曜日13時／支部会館▽西宮支部「オリニ土曜学校」＝22日13時／支部会館▽宝塚支部「オリニ土曜学校」＝22日13時半／支部会館▽本部「神戸オリニ学校」＝22日14時／本部会館▽宝塚支部「中高生土曜学校」＝22日15時／支部会館▽本部「神戸オリニ学校KPOPダンス」＝15日、22日15時半／本部会館▽西播支部「KPOPダンス」＝22日19時／支部会館▽西神戸支部「第66回丸山分団定期総会」＝9日12時／西神戸支部会館▽本部「県下支部・傘下団体全体懇親会」＝10日16時／本部会館▽婦人会「オモニコラス教室」＝11日、18日13時／本部会館▽西宮支部「韓国歴史・文化教室」＝18日19時半／支部会館▽商工会「創立60周年記念式典」＝21日16時半／エスタシオンデ神戸▽青年会「カフェ青年会」＝22日14時／別館ピフレ料理教室

◆京　都

▽本部「オリニ土曜学校」＝22日9時50分／本部会館▽南京都支部「チャング教室」＝20日13時／支部会館▽南京都支部「子ども食堂」＝26日16時／パランセ▽婦人会右京支部「子ども食堂」＝27日16時／エステイト東久西京極

◆和歌山

▽婦人会「韓国料理教室」＝22日11時／中央コミュニティセンター

◆鳥　取

▽本部「第71回在日講座」＝15日13時／本部会館▽本部「第5回オリニノリト」＝29日10時／国際交流プラザ

◆島　根

▽本部「習ってみよう、韓国の伝統舞踊」＝22日13時／松江市国際交流会館▽本部「オリニハングル学校」＝毎週火曜日19時／浜田市公民館

◆佐　賀

▽本部「巡回領事業務」＝21日13時／本部会館

◆徳　島

▽本部「韓日友好・韓国健康料理試食会」＝16日12時／ふれあい健康館

■その他行事

◆東　京

▽東京韓国教育院「在日韓国人韓国語スピーチ大会」＝22日14時／東京韓国学校

◆秋　田

▽日韓協「定期総会」＝17日17時半／秋田キャッスルホテル

◆愛　知

▽事務局「韓日ドローンサッカー大会」＝23日11時／本部会館

◆大　阪

▽実行委「平和統一諮問会議近畿地協・2024統一ゴールデンベル・ウリナラクイズ大会」＝22日10時／本部会館

◆兵　庫

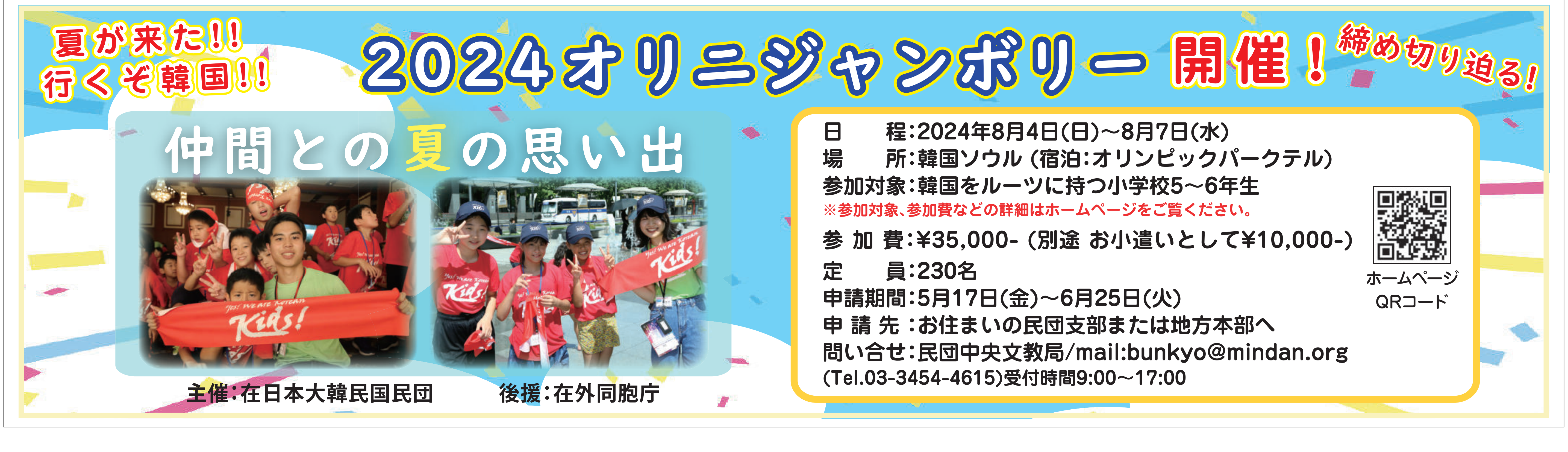
▽神戸韓国教育院「青少年KPOPダンス教室」＝18日、25日19時／本部会館▽神戸韓国教育院「韓国留学準備班」＝毎週水曜日19時／本部会館▽大阪観光大学「韓国DAY」＝18日12時／大阪観光大学

◆岡　山

▽市国際課「多文化共生ネットワーク会議」＝7日14時／市役所ホール▽韓国教育院「韓国料理教室」＝26日10時／岡山県国際交流センター

◆島　根

▽NPO法人エスペランサ「国際音楽交流の集い」＝9日14時／菅田会館


夏が来た!! 行くぞ韓国!!

2024オリニジャンボリー 開催！ 締め切り迫る！

仲間との夏の思い出

日　　程：2024年8月4日（日）～8月7日（水）
場　　所：韓国ソウル（宿泊：オリンピックパークテル）
参加対象：韓国をルーツに持つ小学校5～6年生
※参加対象、参加費などの詳細はホームページをご覧ください。
参 加 費：¥35,000-（別途 お小遣いとして¥10,000-）
定　　員：230名
申請期間：5月17日（金）～6月25日（火）
申 請 先：お住まいの民団支部または地方本部へ
問い合せ：民団中央文教局/mail:bunkyo@mindan.org
(Tel.03-3454-4615)受付時間9:00～17:00

ホームページ QRコード

主催：在日本大韓民国民団　後援：在外同胞庁